



右馬元たじま

29-333-
サニエウの巻

昨日暮れ 公園の散歩を楽しみました。

道沿いの右と左に梅の木があり二分咲きで既に
とも色っぽいので石垣の透向に露の蔭が、顔を
出している。庭のサニエウは蕾の先だけ黄色にリリ
たかまたまた固く暖かい部屋にとり込んだ枝は
満開で、今朝 息子の店に活けに行ってきた
水仙はまた幼なくクリスマスローズは1輪2輪
ようやく咲き始めたようです。雨水 杉竹を切
ったり根を掘りおこしたり 生命力の強い草を取
るなどしていましたが、この日(18日)は雪荒れの寒々
とした一日でした。19日は友子母、102才のお誕生
手際の良いことをしてあげば、とやさしく程元気な
状態です。お料理食べれなくなってきたので、おらら、おら
尖ってきた。足の不自由な地は、またまたやる気
満々です。去年の今頃は、うぐいすの貝殻をか
き出した。…… さてはコロナにかかったのか……

新型コロナと母の介護で大鹿の地面の上に
だけ生息している私。点から去発17点で終
れる生涯を見つめています。目の前と家族が
行ったり来たり。娘久美は今年はやめてお
は良いのに、気持ちを抑えられずヨガ研修に東京へ
出かけました。4月には戻りますが元気で帰って来て
欲しいと願っています。元と充は仲良くお家様
のおもてなしを17いて休みの時は溪流釣りを
楽しんでいます。充は今年35才になります。適齢期です。
いい出会いを願いたいところです。

1月は行く 2月は逃げる 3月は去ると
のんびりと過ごすこの頃のことを、たろちち日か過ぎている
ことをこのように表現して実感していました。この如月
の時の流れが、おたり、お減、いいですね。いつに
なく美しい(草の多い)地面。猿の家族をツツツと
追い払いながら、太陽に背中を暖めてとらい、おら
大豆をよろける(殻から中身を取り出す)、黒竹杯の清掃。
夜中はお布団の中で窓越しに美しい星空を眺め
今までの無かった最高の如月を楽しめたような
気分です。お月様は半月に変わったと思えば
どうお腹が、大きくなら、すぐには満月。お位がいい
ですね。おからた、お大切に、という感じですよ。